



教育方針 理念と教育方針

Reconnecting with your culture 地球規模で学校教育を考えてみませんか



”Reconnecting with your Culture (以下 RWYC)”は、EdA (国際研究センター Esempi di Architettura) と UNESCO University and Heritage の支援を受け 2020 年 7 月に生まれた国際的なプロジェクトです。本プロジェクトは「国連 2030 アジェンダ」が掲げる 17 の目標のひとつ No.4 ”質の高い教育” の実現を目指すものです。

本プロジェクトは世界各国の小・中学校を対象としており、以下を目標に掲げています。

- 若い世代の人々が地方文化をめぐる問題を身近なものとして捉え、その価値や意義について考えるようになる
- 地域住人としてのアイデンティティの確立
- 地域固有の伝統をよく知っている
- 地域の文化遺産 (有形・無形および人間国宝) についてきちんと把握している・知識を有している

我々は、文化を基軸に添えた学習を通してこそ各々が共同体の一員であることを自覚し、共同体を尊重し、共同体における自己の責任を遂行する社会、異文化との対話に向け開かれた社会を実現できると確信しています。RWYC が掲げる理念に基づいた教育により、「文化」や「市民教育」というテーマが子供 や若者たちにとってより身近なものになります。現状の的確な把握と明るい未来の構築は 地域の文化遺産について知り意識を高めることによってこそ可能になることを彼らが学ぶ からです。ゆえに、本プロジェクトは、世界中の子供たちが皆「地域の文化遺産」について学ぶ機会を得ることができるよう、学校において文化財教育を基盤においたカリキュラムが生まれ、教科 (例えば数学と文学、言語学と歴史、科学と応用芸術) 間で対話と相互理解が図られることを望みます。

本プロジェクトが掲げる教育方針は、良き社会が実現される、すなわち世界各国が発展するための倫理的・道徳的基盤を作ることを目標としています。多種多様の分野で活動をする人々の交流を促し、文化的価値とは何かという問題について様々な分野の専門家に意見を求めるのはそのためです。RWYC は、世代間 (子供と両親や祖父母、もしくは地域社会における各世代) および異文化間—諸国間といっても良いかもしれません—で対話が生まれることを目標としています。



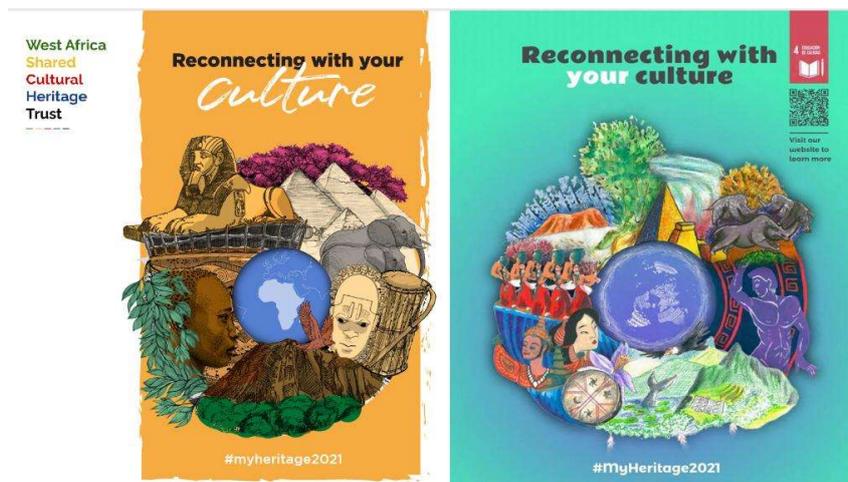
まず、自身の文化についてきちんと理解をする。それができたら他の文化との対話を試みる。今後世界がよりいっそう発展していくための鍵は、多様性の尊重にあります。他文化との対話を試みることはその第一歩と言えます。

子供や若者たちの文化に対する意識を高められるよう、RWYC が掲げる教育理念に基づき学校ごとに学習計画をたて、地域性に鑑みた教育を実践していくこととなります。実践するにあたっての原則的な手順を簡単に述べると以下のようになります。

1. さあ、宝探した。街を歩いてごらん！ [文化遺産を探索、発見するプランを立てる]
2. どんな方法で？ [プランを実現する方法の確立]
3. きみと一緒に宝物を発見するのは誰？ 君の街の文化遺産について語ってね [チーム学習の楽しさを体験しコミュニケーション能力を高める / 学習成果を地域に活かしていく]

本教育方針に基づき教育の実践を試みる学校は、RWYC という国際的なネットワークを通し他の教育機関、他の国々と連携しつつ教育活動を推進することになるでしょう。

RWYC は全世界を五つの地域に分け、それぞれの地域に支局をおいています。最も新しいのは 2021 年 5 月 21 日に設立されたアフリカ支部で、ナイジェリアのラゴスに支局を置いています。ICOMOS (International Council of Monumental and Sites、国際記念物遺跡会議) ナイジェリア支部長 Solá Akintúndé 氏がアフリカ支部長を兼任しています。



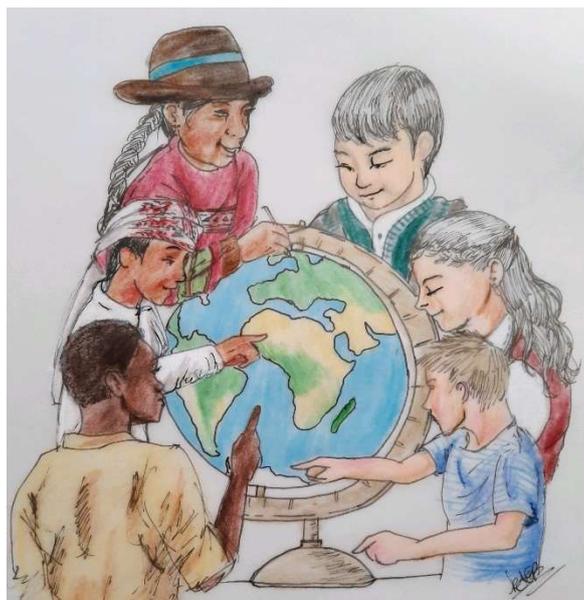
RWYC 本部事務局の了解を得た上で、地域固有の文化を象徴するロゴを支部ごとに作成・使用することができます。プロジェクトの普及を目的とした活動は、支部単位で行われます。



学習計画を立てるにあたっての **RWYC** 教育方針の採用を各学校へ提案したり、本教育方針の共有および学校同士の対話を目的としたセミナーの開催をここでは活動事例として挙げておきましょう。年に一度、全支部（アフリカ、アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニア）が国際学術セミナーで一堂に会し、活動の成果と今後の方針について話し合いをします。

2021 年 5 月

グローバル・ディレクター
オリンピック・ニリオ



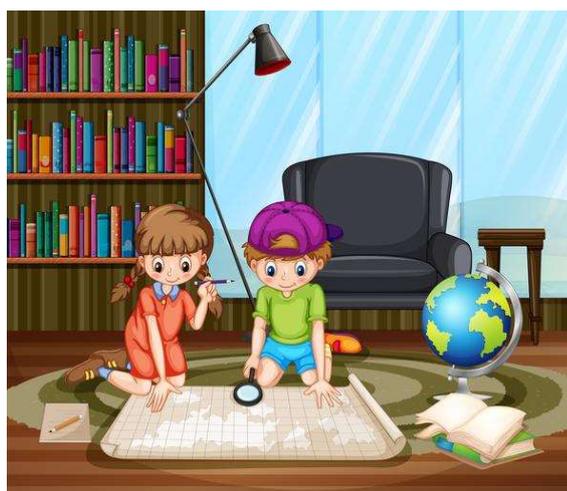
Reconnecting with your culture
(Kevin A. Echeverry, 2021)



理念と教育方針 Reconnecting with your culture

1. さあ、宝探した。街を歩いてごらん! [文化遺産を探索、発見するプランを立てる]

何か面白いことはないかなあ...、そうぼやいている君、住んでいる街を探検してみませんか? 宝探しにでも出かけるような気分で、ウォーキングマップをまず作成してみましょ



う。地図を描いているうちに、どんなものが「文化財」「文化遺産」と呼ばれているものなのか何となくわかってきます。世界中の人たちに知ってほしいと君が願う物や場所を皆が発見できるよう、手がかりを地図に書き込んでいきましょう。旅行日誌や羅針盤、ドローイングの道具を携え君が動き回れば、それまで知られていなかった物や場所を発見する体験を私たちも分かち合うことができます。それを発見できるかどうか、君の街にある宝物を皆に知ってもらえ

るかどうか、世界の人たちとシェアするかどうかはそう、君にかかっているのです。

宝物を見つけたら、地図の空いたスペースに好みの大きさと好きなようにその宝物を描きこみましょう。こうすることによって君が描いた地図を片手に手がかりをたどる冒険者は皆、君の街に隠された宝物を見つけることができるのです。



2. どんな方法で? [プランを実現する方法の確立]

まず、宝物に出逢えそうな場所を頭に思い浮かべてもらなさい。学校、近所、広場、公園、街の中心街、美術館、寺院、等々。目的地が決まったら、冒険に必要と思われるもの



のをすべて旅行カバンに詰め込みましょう。これでもう君は、いっぴしの探検家! 君が今たどっている道を地図に記したり発見したものをすぐさま描きとめることができるよう、紙とドローイングの道具を持って行くのを忘れないでください。道すがらどんなものも見逃さないよう、周りには常に注意深く目を配りましょう。

君の街の歴史や道端に潜む文化遺産を知りたいと願う人にとって、君が作成する地図やメモ、そして何よりも君が描いたスケッチがこの上なく重要な道標となることをどうぞ忘れないで。

3. 一緒に宝物を発見するのは誰? 君の街の文化遺産について語ってください

[チーム学習の楽しさを体験する・コミュニケーション能力を高める / 学習成果を地域に活かしていく]



チームを作って宝探しをすれば、楽しさも倍増です。この宝物探しで君を助けてくれそうな人のことを思い浮かべてみましょう。お父さんとお母さん、お兄ちゃんやお姉ちゃん、おじいちゃんとおばあちゃん、友だち、先生。皆、君をしっかりサポートしてくれることでしょう。

君のおかげで私たちもその文化遺産について知ることができ、それを世界中で共有できるようになります。共有すべき文化遺産について知りその



価値を理解することは、私たち自身の過去を振り返り、現在の私たち自身について考え、未来に向けて歩むべき道筋を見定めることでもあるのです。

君が自分の街の歴史について語ってくれることを、絵やビデオ、テキストを通して君の経験をシェアしてくれるのを私たちは待っています。君の街の文化遺産について語ってください。それが人類全体の共有財産となるように。

連絡先

**RECONNECTING WITH YOUR CULTURE
INTERNATIONAL**
rwyc.international@gmail.com

Website

<http://esempiarchitettura.it/sito/edakids-reconnecting-with-your-culture/>

Translation in Japanese: Ako KATAGIRI